

## ●まちのできごと

### 8/10 町屋観音堂千日参り

毎年8月10日は、町屋観音堂の千日参りの日です。

この日にお参りすることで、千日分の功德を積んだことになると言われてます。また、元日と合わせて年に2回しかない十一面観世音菩薩像が御開帳される日でもあります。この十一面観音は照手姫の守り本尊で、縁結びと安産の守り観音といわれており、町外の方も含めて多くの方が参拝されました。

町屋の地名は、照手姫が小栗判官を待っていた「待合<sup>まちあい</sup>」の地であることが由来とされています。



▲今年も多くの人が参拝されました

### 8/11 東安中生徒手作りマスク

『学校の休業中に地域のために何かできることはないか。マスクを手作りしたら良いのではないか』生徒会の提案から1年生～3年生の160人の有志が布マスクを手作りしました。

4月中旬～5月末の間に150枚のマスクが集まり、堀町長に80枚、小川大垣市長に70枚を生徒会役員の3人が贈呈しました。

生徒会役員は「ミシンや手縫いでつくりました。手縫いで目を細かく気をつけながらやると1つ作るのに1日かかりました」と話してくれました。

寄贈されたマスクは社会福祉協議会で活用されます。



▲堀町長にマスクを手渡す生徒会役員

### 8/11 アンヒルパークを美しく

アンヒルパークボランティアの皆さんが花壇の除草と水やりを行いました。当ボランティアは平成10年に発足し、毎月1回花壇の植栽や清掃活動を行っています。

高木祥子会長は「この時期は、雑草が伸びるのと、毎日の水やりが大変ですが、仲間と協力して作業するのは楽しいです」と話されました。

ボランティアの参加は随時受け付けています。詳しくは生涯学習課（☎64-4343）へお問い合わせください。



▲交流も楽しみながらボランティア活動を行っています

### 8/18 手作り布マスク

介護予防活動を行う元気サポーターの皆さんが布マスク330枚を「コロナでの自粛生活に負けることなく、元気で生き生きと過ごせるように」と願いをこめて手作りし、高齢者の皆さんに渡してほしいと寄贈がありました。

マスクには町のマスコットキャラクターのアンビーと、全国で展開されている認知症の普及啓発のためのマスコットキャラクターのロバ隊長がプリントされています。

9月はアルツハイマー月間で、認知症は誰もががかわる身近な問題です。正しく理解し、支え合える社会を作りましょう。



▲元気サポーターの皆さんと堀町長